

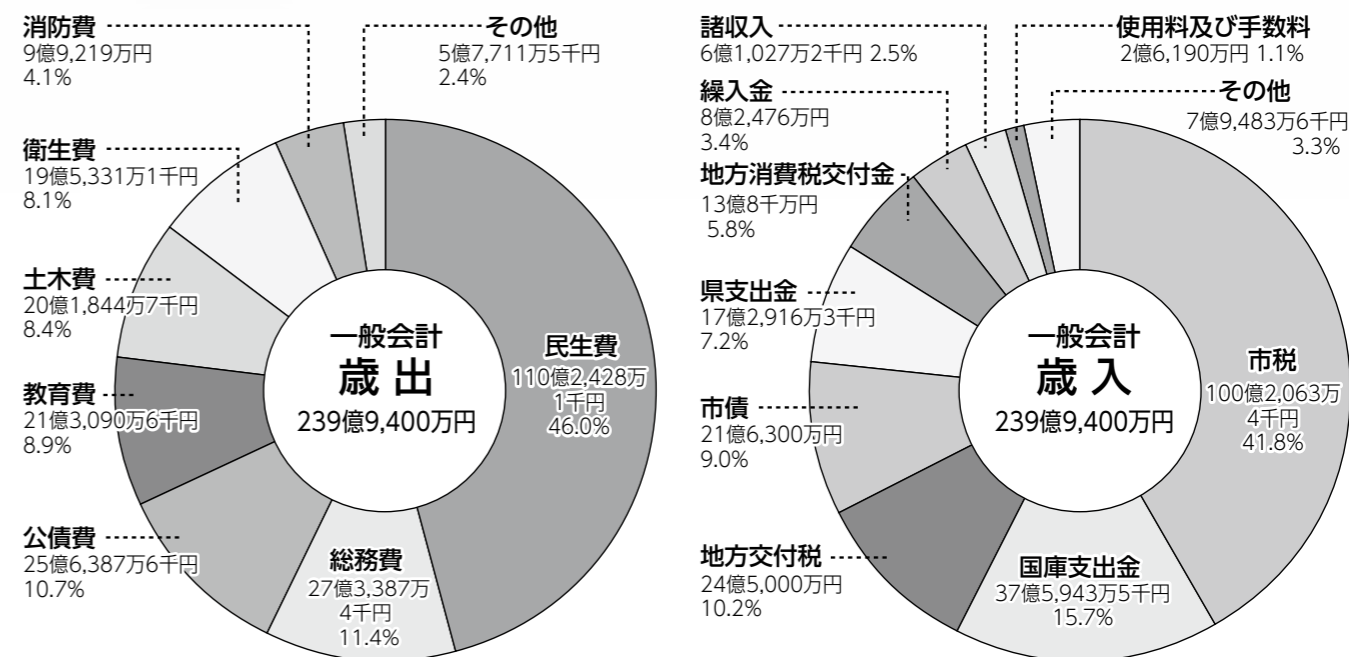
# 夢と希望を未来へ

## — 令和3年度施政方針と予算のあらまし —

詳しくは☎財政課☎788-4905

2月22日(月)から開催された3月定例会市議会で、令和3年度当初予算案が可決されました。予算総額は、一般会計、特別会計、公共下水道事業会計を合わせて399億361万4千円で、前年度に比べると0.8パーセントの減額となっています。

### 当初予算のあらまし



### 会計別の予算

(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比
一般会計	23,994,000	△ 2.5%
特別会計		
国民健康保険特別会	7,361,000	△ 0.2%
介護保険特別会	5,928,000	4.6%
後期高齢者医療特別会	1,138,000	0.8%
公共下水道事業会計	1,482,614	3.8%
合計	39,903,614	△ 0.8%

小数点第2位を四捨五入

### 一般会計内訳

**歳入**  
歳入総額は、239億9,400万円で、前年度より2.5%減少しています。歳入で最も多いのは、市税(市市民税、固定資産税など)で41.8%を占め、100億2,063万4千円を見込んでいます。次に多いのが国庫支出金で37億5,943万5千円となつていす。以下、地方交付税、市債、県支出金、地方消

**歳出**  
歳出総額も歳入と同じ239億9,400万円です。歳出で最も多いのは、民生費の110億2,428万1千円で46.0%を占め、次に、総務費27億3,387万4千円、以下、公債費、教育費、土木費、衛生費と続いています。

費税交付金と続いています。

### 令和3年度 施政方針(要旨)



桶川市長 小野克典

平成25年4月、多くの市民の皆様からの御期待と御支援を賜り、市長に就任し、平成29年には、再び市長として市政を担ってまいりました。この間、「夢と希望を未来へつなぐまちづくり」を掲げ、更に便利で安心して暮らせるまちを目指して、スピード感を持って市政運営に全力で取り組んでまいりました。

私なりに、この8年間で一定の成果を残すことができたと思っております。これもひとえに、多くの市民の皆様や議会の皆様の市政に

対する深い御理解と御協力、そして、職員の不断の努力の賜物であると痛感しているところでございます。こうした多くの皆様の御尽力に対し、改めて心より感謝申し上げます。

さて、本市の財政状況につきましては、社会保障経費や市債の償還などの義務的経費が今後も増加していきます、さらには、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税等の収入が減少していく見込みであり、過去に例のない厳しい時代を迎えております。

このような厳しい財政状況の中でも、ごみ処理施設の整備など喫緊に取り組まなければならない課題の解決や、駅東口整備、道の駅整

備、企業誘致などの将来に向けたまちづくりをスピード感をもって適確に進めるとともに、少子高齢化社会に向けた子育て支援や高齢者及び障害者福祉のより一層の充実を図り、持続可能なまちづくりを進めて行かなければなりません。

令和3年度の市政運営に当たりましては、厳しい財政運営が見込まれる状況にあっても、ポストコロナ時代を見据え、新しい生活様式に合わせた施策を実施していく必要があります。

当初予算の編成に当たりましては、「桶川市第五次総合振興計画」の考え方(理念)を基本とし、ポストコロナ時代を見据え、5つの重点分野として「安心安全で利便性の高いまちづくりの推進」、「子どもが輝き、安心して子育てができるまちづくりの推進」、「高齢者が健

康でいきいきと暮らせるまちづくりの推進」、「にぎわいや活力に満ちあふれる元気なまちづくりの推進」そして「新たな時代に向けたまちづくりの推進」を位置付け、優先的に予算措置を講じたものでございます。

令和3年度も「桶川市第五次総合振興計画」の将来都市像である「みんなでつくり育む活気あふれる交流拠点都市おけがわ」の実現に向け、夢と希望を未来へつなぐ持続可能なまちづくりに全力で取り組んでまいります。引き続き、賜りますようお願い申し上げます。

(各分野の個々の事業の詳細につきましては、次ページ以降に掲載しておりますので御参照ください。)

# 今年度の主要事業をお知らせします

だれもが主役の桶川をつくる

【参画・協働】

## ○市制施行50周年記念事業

295万円

市制施行50周年を記念して、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた記念式典を実施します。

## ○男女共同参画推進事業

130万6千円

「第四次桶川市男女共同参画基本計画」を着実に推進するため、市民や関係機関との連携を図りながら、審議会などへの女性の積極的な参画の推進や男女共同参画コーナー「アソシエ」の利用促進を図ります。

## ○地域コミュニティ推進事業

5,158万円

地域コミュニティの推進を図るため、各種コミュニティ推進団体へ補助金を交付するなど、町会・自治会などが行うコミュニティ活動を積極的に支援します。令和3年度は、川田谷天沼地区自治会館の建設費の補助も行います。

## ○市民活動サポートセンター運営事業

371万1千円

市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民団体の活動や共同事業の拠点として、市民活動

サポートセンターを運営します。

## ○協働提案事業補助金

100万円

市民活動の活性化や市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、協働提案事業実施団体に補助金を交付します。

## 生きる力を育み

## 次代に繋げる桶川をつくる

【教育・文化】

## ○ICT支援員の配置

392万円

GIGAスクール構想の実現に向けて配布した一人一台の学習用端末を、教員や児童・生徒が活用できるように、情報機器の取り扱いや教材作成、授業や研修の補助を行うため、ICT支援員を配置します。

## ○スマイル相談員の配置

335万3千円

児童の学習や人間関係の悩みに対する相談、また、子どもに関する不安を抱えた保護者に対する相談窓口となり、円滑な学校運営を行うため、令和3年度から全小学校に相談員を配置します。

## ○学校プール民間委託事業

404万8千円

民間事業者の施設を利用して、中

学校のプール授業を行うことにより、安定的なプール授業の実施、インストラクターの指導補助による泳力の向上および長期的なプール維持管理経費の削減を図ります。

## ○コミュニティ・スクール事業

89万8千円

市内全小・中学校において学校運営協議会を設置し、学校・家庭・地域が一体となって学校運営や必要な支援に関する協議を行い、「地域とともにある学校づくり」を推進します。

## ○埼玉県レクリエーション大会事業

73万円

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていた埼玉県レクリエーション大会について、桶川市を会場に実施します。

## ○東京2020聖火リレー事業

1,078万7千円

東京2020聖火リレーを、7月8日(木)に旧中山道の中山道パーキング前から北上尾駅入口交差点までの区間で実施します。

## 共に支え合いいきいきと 暮らせる桶川をつくる

【健康・福祉】

## ○地域福祉活動センター大規模改修事業

2億1,000万円

地域福祉活動センターの老朽化に

## ○精神保健推進事業

100万9千円

弁護士、司法書士、社会福祉士および精神保健福祉士などによる総合相談会を開催し、「経済・生活問題」や「不眠など、こころの健康問題」などの複数の悩みを抱える住民に対してワンストップで適切な相談支援を行い、自殺予防を図ります。

## 環境にやさしく安心・安全に 住み続けられる桶川をつくる

【市民生活】

## ○住宅用新・省エネルギー機器設置費補助金

600万円

住宅用新・省エネルギー機器の設置に対し補助することで、環境への負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進を図ります。

## ○道路照明灯LED化事業

1,200万円

道路照明灯の電気使用量の削減や二酸化炭素の削減による環境負荷の軽減などを図るため、市内全域で道路照明灯のLED化を推進します。令和3年度は試験的に路線を選定し実施します。

## ○災害時等情報伝達システム導入事業

117万7千円

災害発生時に共助の担い手となる自主防災組織などに対して、避難情

## みどりと調和した 暮らしやすい桶川をつくる

【みどり・都市基盤】

## ○土地区画整理推進事業

2億3,471万5千円

良好な市街地の形成を図るため、土地区画整理事業を施行する組合に対して、事業の進捗が図れるよう支援します。また、併せて上日出谷南2号調整池の築造工事も行います。

伴い施設の大規模改修を実施し、新たな活動拠点としてリニューアルすることで、更なる地域福祉の推進を図ります。令和3年度に大規模改修工事に着手し、令和4年度の開館を目指します。

## ○福祉タクシー等事業

900万円

在宅の重度障害者および重度障害児に対し、日常の利便性と社会参加を目的として交付しているタクシー券、燃料券について、18歳以下の子どもを対象としていたタクシー券、燃料券の選択制を、全対象者に拡大します。

## ○地域密着型サービス施設整備支援事業

5,625万3千円

地域密着型サービスの充実を図るため、市内に新設される認知症高齢者グループホームの整備費用に対して補助金を交付します。

## ○小児インフルエンザ予防接種助成事業

420万円

子育て世帯の経済的負担軽減と、インフルエンザ感染による重症化や合併症の発症を予防するため、小児用インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。令和3年度からは、対象を1、9歳と中学3年生に拡充します。

## ○駅東口整備事業

3億2,096万2千円

駅前広場や駅東口通り線などの整備を進めながら、安全で、にぎわいのある桶川駅東口周辺地区を目指します。令和3年度は、「駅東口駅前広場」整備工事および無電柱化設計、「南小跡地周辺道路」整備のための測量、「市道11-1号線(仲仙道線交差点付近)」整備のための用地取得を進めます。

## ○河川浚渫推進事業

500万円

河川の流下能力を確保し、浸水被害の軽減を図るため、石川川を浚渫するための実施設計を行います。

## にぎわいと活力ある桶川をつくる

【産業】

## ○農業センター耐震改修事業

679万8千円

昭和53年に建築された農業センターの耐震改修、バリアフリー化などの工事を行います。令和2年度からの2か年の事業で、令和3年度は改修工事に併せて、県産材の木材を活用した備品などを整備することにより、更なる利便性の向上を図ります。

## ○道の駅推進事業

205万2千円

地域の魅力発信・産業の振興・災害時の防災拠点となる「道の駅」を

整備するため、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの状況や社会情勢などを見ながら、設計・工事・維持管理・運営を一括して行う事業者の選定を進めていきます。

## ○べに花の郷づくり事業

715万円

べに花をシンボルとした個性あるまちづくりを推進するため、べに花の咲き誇る景観づくりをはじめとする啓発事業を実施します。

## 計画的で将来を見据えた 桶川をつくる

【行財政運営】

## ○総合振興計画策定事業

1,396万9千円

まちづくりと行政運営の方向性を示し、計画的に施策を推進する必要があるため、総合的な市政運営のための指針となる次期総合振興計画を策定します。

## ○広報事業

2,267万6千円

市民の身近な情報源として広報紙や公式ホームページの更なる充実を図るとともに、SNSなど多様な方法を活用した情報発信に努め、開かれた市政の実現を目指します。

※各事業は主なものの概要、順不同です。